

豊前東芝エレクトロニクス株式会社 サイトレポート情報

所在地 : 豊前本社 福岡県豊前市大字沓川760番地  
直方事業所 福岡県直方市大字上新入1891番地の1  
敷地面積 : 豊前本社 67,345㎡(建家面積 12,004㎡) 緑化率 : 20.2%  
直方事業所 13,303㎡(建家面積 6,549㎡) 緑化率 : 9.9%(法適用外)  
設立 : 1973年7月、正規従業員 : 800人 (2010年3月末時点)

主要製品 : LEDランプ、フォトカプラ、光センサ、トスリンク (光伝送デバイス) ,  
ダイオード、トランジスタ、Power MOS FET 他

ISO14001認証取得 : 1998年1月(セミコンダクター社グループとしての統合認証  
実施年月 : 2007年8月)、ISO14001統合認証の有効期限 : 2013年8月(2010年8月更新)、  
ISO14001認証番号 : EC98J2014



ごあいさつ

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、光デバイスを中心としたディスクリート半導体の製造における環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行い、環境にやさしい企業活動の推進を通じて社会に貢献することを目指しています。



環境保全責任者 松本 裕之

2009年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム認証

2009年7月 東芝 セミコンダクター社 統合審査STEP3・サイト(豊前)サーベイランス (合格) (総合評価:向上)

☆環境保全体制の充実

法令及び条例の順守、現場管理の充実

☆CO2排出量の削減

省エネ施策によるCO2排出量削減実績:236トン-CO2 (目標:174トン-CO2削減)(目標達成)

☆廃棄物ゼロエミッションの継続

最終処分率 0.005%(東芝グループ製造拠点 目標0.5%)

☆環境に配慮した製品

(目標達成)

環境に配慮した製品を85品種移管を受け量産化

☆資材取引先に関する環境配慮

取引先に指導・支援(全5社)、産業廃棄物処理委託先確認(全11社)

☆全員参加・啓発活動の展開

環境月間・3R推進月間・省エネ月間による環境啓発活動、環境ニュース・環境保全カードの配布 等

☆地域との交流

従業員家族向け『エコパンフレット』の創刊・配布、“地域住民との『産業廃棄物処理委託先現地確認』の実施” 等

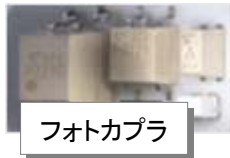


製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

当社が製造するディスクリート半導体は、業務用からご家庭までの幅広い電子機器でご利用いただいております。省エネに貢献しています。



LEDランプ



フォトカプラ



光センサ



トスリンク



ダイオード

環境コミュニケーションの紹介

☆環境報告書の発行 :

2004年度から毎年発行

☆地域とのコミュニケーションの促進

豊前市『花と緑の町づくり委員会』参加

豊前市『クリーンキャンペーン』参加

直方市『遠賀川河川敷チューリップ植え』参加

地域住民との『環境意見交換会』開催

地域行政(豊前市 生活環境課職員)による『環境法令教育』の実施

(豊前市の環境関連苦情の状況、悪臭防止法 等)



環境報告書



環境法令教育



環境意見交換会

## 環境保全基本方針

## —理念—

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝グループの環境基本方針である「かけがえのない地球環境」を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

## —方針—

豊前東芝エレクトロニクス(株)は、東芝セミコンダクター社グループの環境方針に基づき、環境保全への取組みを経営の最重要課題の一つと位置づけ、光デバイスを中心としたディスクリート半導体の製造における環境負荷の低減を経営と調和させながら積極的に行い、環境にやさしい企業活動の推進と省エネ・省資源を通じて社会に貢献することを目指し、以下の方針を定めます。

## 1. 倫理観(コンプライアンス)と継続性(サステナビリティ)

- 1) 環境保全に関する法令、その他当社が同意した業界などの指針および自主基準など 当社の環境側面に適用される法的要求事項および同意するその他の要求事項を順守します。
- 2) 環境保全活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

## 2. 実行(エクゼキューション)

企業活動の実行においては、当社に適用される全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定し、環境保全活動を推進します。

- 1) コンプライアンスの徹底を図るため、環境マネジメントシステムの統合化により環境経営の一元化に取組みます。
- 2) 化学物質の適正管理と使用量削減を推進し環境配慮型製品の提供を通じ、社会の環境負荷低減に取組みます。
- 3) 生産性の向上、動力および製造設備を中心とした省エネルギー・温暖化ガス排出削減施策の実施、物流の効率向上により地球温暖化防止を推進します。
- 4) 循環型社会構築のために生産性の向上、3Rの取組みを積極的に進め、廃棄物排出量の削減、水資源受入量の削減施策の実施により資源の有効活用を推進します。
- 5) 瀬戸内海国立公園内の豊前海に隣接した立地条件を認識し、閉鎖性海域の水および遠賀川水系の水を守るため排水管理の充実を図ります。
- 6) 地域社会との環境コミュニケーションの促進を図り、更に社外行事への積極的参加を通じて、ステークホルダーとの相互理解の促進に取組みます。
- 7) 従業員の環境意識を高め、環境に配慮した企業活動をグループ全員で実行します。

この環境保全基本方針は、社内外に開示するとともに 当社で働くまたは当社のために働くすべての人々に周知し、方針に沿った企業活動を推進します。

2010年 8月 9日

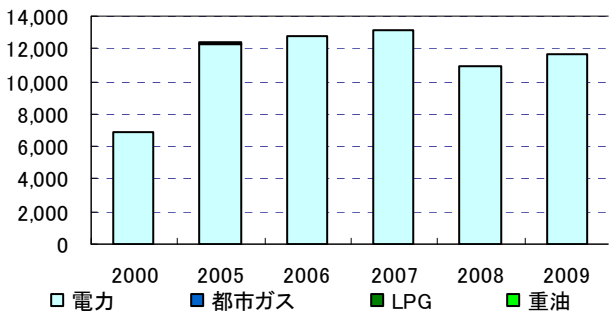
豊前東芝エレクトロニクス株式会社

環境保全責任者

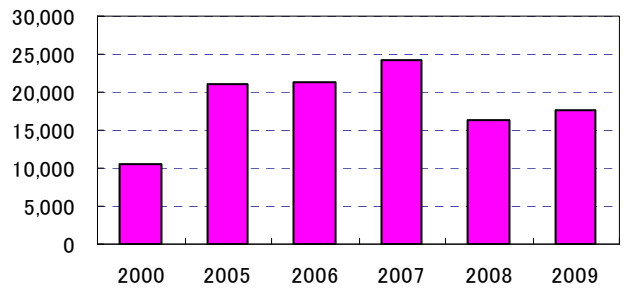
松本裕之

環境負荷データ

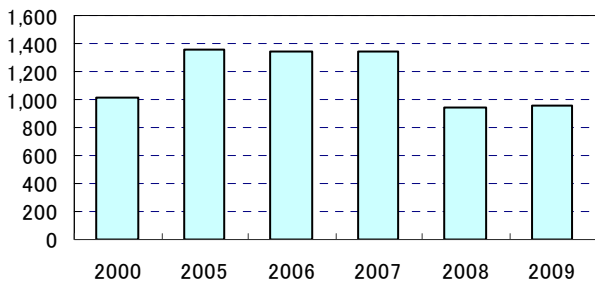
エネルギー使用量(単位:KL)



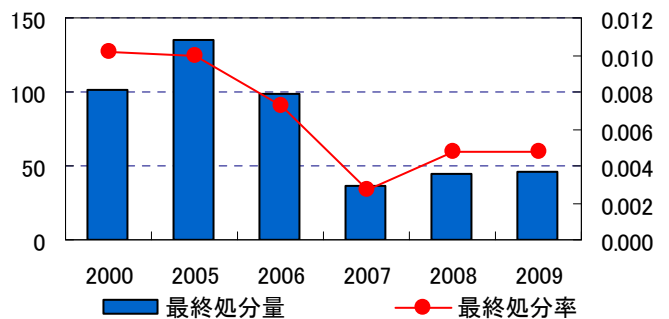
CO<sub>2</sub>排出量(単位:トン-CO<sub>2</sub>)



廃棄物総発生量(単位:トン)

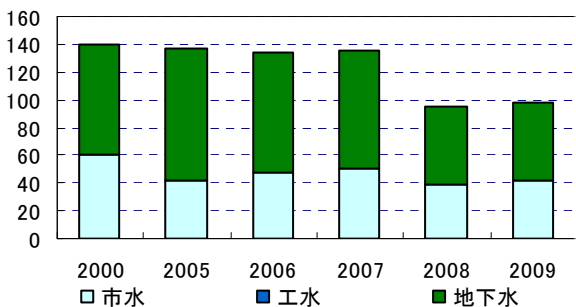


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:kg、%)

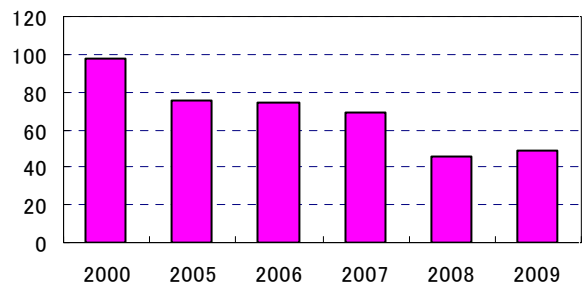


主な廃棄物名: 廃プラスチック、研磨汚泥、溶剤廃液、廃酸

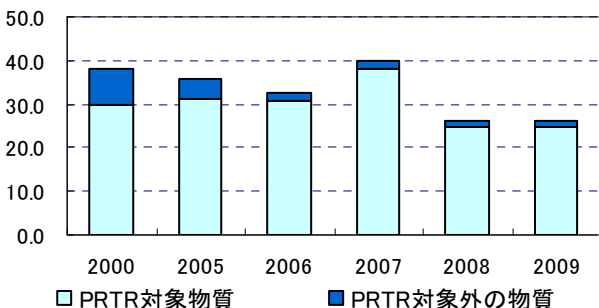
水の使用量(単位:千m<sup>3</sup>)



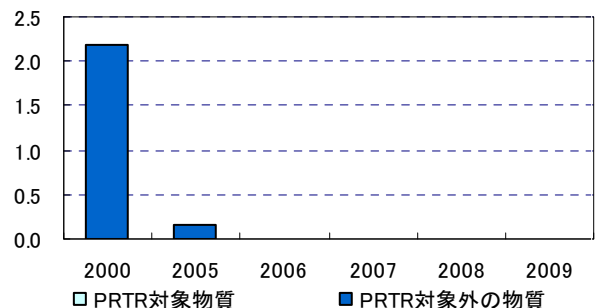
排水量(単位:千m<sup>3</sup>)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質: 4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)、アンチモンおよびその化合物、銀およびその水溶性化合物、硫酸、苛性ソーダ。

**遵法管理状況**

＜大気測定結果＞

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	対象外	—	—	—
SOx(Nm3/h)	対象外	—	—	—
ばいじん(mg/Nm3)	対象外	—	—	—

＜排水測定結果＞(主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.8～8.6	6.1～8.3	7.1～8.0	1回/週
BOD(mg/ℓ)	160.0	56.0	5.0	1回/週
COD(mg/ℓ)	160.0	56.0	3.0	1回/週
SS(mg/ℓ)	200.0	70.0	2.0	1回/週
鉛(mg/ℓ)	0.1	0.04	ND	1回/週

＜騒音・振動測定結果＞(特定施設(騒音 5 施設(空気圧縮機)、振動 5 施設(空気圧縮機))

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	64	52	2回/年
	敷地境界:夜	55	54	49	2回/年
振動(dB)	敷地境界:昼	65	50	<30	1回/年
	敷地境界:夜	60	50	<30	1回/年

＜その他測定結果＞(下水道法:主な測定結果)

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0～9.0	5.3～8.7	6.7～7.7	毎日
水温(°C)	45°C未満	—	27	毎日
鉛(mg/ℓ)	0.1	0.07	ND	1回/週

＜環境事故・指導指摘・苦情の有無＞

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし